

2019年4月1日  
日本生命保険相互会社

## 赤道原則の採択について

日本生命保険相互会社（社長：清水博、以下「当社」）は、プロジェクトファイナンス等における環境・社会配慮の国際的なガイドラインである「赤道原則（Equator Principles）」を採択し、その運用を開始しましたのでお知らせします。なお、保険会社としてアジア初の赤道原則の採択となります。

当社は、2017年にストラクチャードファイナンス営業部を新設し、海外プロジェクトファイナンスへの取組を本格化しています。大規模開発を伴うプロジェクトは、自然環境や地域社会に対して大きな影響を及ぼす可能性があり、プロジェクトファイナンスの意思決定時には、環境・社会面への配慮がより重要になることから、今般、赤道原則を採択しました。

赤道原則の採択に伴い、当社では、プロジェクトファイナンス等の意思決定のプロセスにおいて環境・社会影響の評価を行うとともに、融資実行後に遵守状況のモニタリングを行います。

当社はこれまで、資産運用において、環境や地域・社会と共生し、経済・企業と安定的な成長を共有していく視点を重視してきました。近年では、環境配慮型融資制度の創設（2007年）や国連責任投資原則への署名（2017年）等に取り組み、資産特性に応じて環境・社会・ガバナンスの課題を考慮した運用を行うESG投融資を強化しています。

引き続き、ESG投融資を通じた持続可能な社会の形成に寄与してまいります。

### <赤道原則とは>

融資先のプロジェクトにおいて環境・社会面の配慮が適切に行われているかを確認するための、民間金融機関による自主的なガイドラインです。大型プロジェクト開発による環境・社会影響への関心が高まる中、2003年に欧米の民間銀行4行が世界銀行グループの国際金融公社（IFC）と連携して策定したものがはじまりです。なお、赤道原則という名称には、北半球・南半球問わずグローバルに適用する原則という意味が込められています。

現在、採択金融機関は世界30カ国以上、90以上に拡大し、赤道原則はプロジェクトファイナンスに取組む際の事実上の標準になっています。詳細については赤道原則協会の公式ホームページ（英文）をご参照ください。

赤道原則協会：<http://www.equator-principles.com/>

以上

2019-2G, 広報部